

桐 蕾

編集発行 第6号
 群馬県立桐生工業高等学校
 同窓会事務局 編集部
 群馬県桐生市西久方町1-1-41
 TEL 0277 (22) 7141
 印刷 湯浅印刷有限会社



平成六年度
同窓会総会
 会長以下副会長六名を選出

同窓会長 五十嵐健雄
 野山の錦一段と美しく、秋
 たけてそぞろ寒さを覚える季
 節となりました。
 同窓会員の諸兄には益々ご
 健勝の事とお慶び申し上げます。
 桐蕾六号の発行にあたり本
 年度の、総会の記事を担当す
 る事になりました。
 平成六年六月二十二日
 午後6時、桐生市堤町のプ
 リオパレスに於いて支部役員
 約一〇〇名の参加を得て盛大
 に開催されました。
 総会に先立ち学校長挨拶で
 新しく本年度赴任されました
 加藤通頭先生の教育指針及び
 学校運営に対する抱負と、同
 窓会活動についての積極的支
 援の力強いご挨拶を戴きまし
 た。その後、事業報告、決算
 報告並びに支部設立経過等の
 諸報告、平成六年度事業計画
 予算案及び役員人事に就いて
 は別掲ご案内の通りですが、
 朽津房次郎顧問と共に第一回
 卒業生であります関西支部長
 の今井嘉吉先輩の参加は、当
 総会に花を添えると共に発展
 への大いなる激励と受けとめ
 られました。他に市内外支部

会員並びに先輩多数の参加に
 敬意を表すものです。
 引き続きの懇親会には先
 輩後輩、新旧睦まじく本校同
 総会ならではの雰囲気での
 経つのも忘れ、思い出に残る
 総会でありました。校歌を声
 高らかに歌い又の再会を約束
 し名残り惜しみながら家路へ
 と散って行きました。



- (関西支部今井嘉吉氏)
- 会 長 五十嵐健雄(20・D)
- 桐生トリコット(株)代表取締役
- 副会長 池田 光二(22・W)
- (株)早川製作所相談役
- 副会長 周藤 晴二(23・D)
- 昭和理化学器械(株)取締役社長
- 副会長 新井庫太郎(25・W)
- (有)新井工業代表取締役
- 副会長 平賀 彰之(25・D)
- 副会長 木村 広治(26・W)
- (有)木村織物社長
- 副会長 北川藤一郎(29・W)
- 桐生市福祉部次長
- 以上7名の方々です。

新校長語る

伝統ある桐工に

赴任して

加藤通頭



校庭の銀杏にも秋の訪れを感じさせる頃となりました。

同窓会員の皆様におかれましても、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、四月一日に小林季二前校長の後任として着任いたしました。思い起せば、平成元年度から二年間、教頭として皆さんのご指導・ご協力のもとに楽しく毎日をごさせて頂きました。今後も前同様、そして前校長同様、ご指導・ご支援の程よろしくお願いたします。

現在、本校では校地の東に位置する三棟の全面改築工事を実施しております。

新しい建物には、従来からあった機械科設備は勿論、他科の設備や家庭科室・会議室等も設置されます。今年度末には完成しますので、皆様も機会をみて見学して頂けると有難いと思います。

さて、現在は科学技術の驚愕的進展、国際化・情報化・少子化・価値観の多様化等々と相まって、所謂「社会・経済の空洞化」「雇用なき繁栄」の時代を迎えていると言われていると思います。

この様な激動の社会の中にあつて、高校も例外ではなく、大きな「高校改革」を迫られております。地域に根ざした特色ある学校づくりが求められております。とくに、工業立国「日本」を考える時、工業高校に課せられた責任は重大であると申せましよう。

一方、社会の風潮は高学歴化志向が高まる中で、工業高校から高等教育への道が十分開かれていることや、「物づくりに」の大切さ・楽しさ等を直視することなく、ムードによる普通科高校志向が高まってきてもおります。

社会の人々、とくに21世紀

を担ってゆく子ども達に、このような事実を十分に知って頂く必要を痛感しております。この様な認識のもとに、幾つかの施策を構しながら、学校運営を遂行してまいりたいと思っております。

第一に、桐工生に桐工で学ぶ喜びを満喫して貰い、創造力と活気、人間性溢れる学園づくりを主眼としたと思います。生徒の情操を高め、視野を拓げ、進取の気鋭をもつ健康な人間づくりを目指すとともに、指導する教職員の資質向上に最善を尽くしたいと思っております。

第二に、工業高校の楽しさ、大切さを社会や子ども達に理解して貰うための各種の施策を実施してゆこうと思つた。第三に、生徒の進路目標実現のために、本校卒業後の道を大きく開拓してゆく対策を構じたいと思つた。

以上、赴任にあつたところの所感の一端を述べさせて頂きました。これ等を実現させる為には、同窓の皆様のご指導ご支援が不可欠であります。今後とも、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

くお願ひ申し上げます。

開校記念講演

サンヨー食品株式会社 常務取締役

慶徳勝正氏

「加工食品の動向と即席麵業界の歴史」という演題で講演を頂きました。

講演に先立ち、「ふる里桐生に18年間住んでいました。特に天神様は幼い頃の思い出がたくさんありとても懐かしいもの……」と桐生を愛しがっておりました。

演題に入りますと、インスタントラーメンの発展の要因を、34年ごろにスーパーが発展し始め、家庭にも電化製品が普及し始めたのと相マッチして「安い」「保存性」「すぐ食べられる」インスタント食品が急成長を遂げた、と解りやすくお話し下さいました。つづいて、学生時代のお話しをされ、テニスばかりやっていた事を語り、最後に800人の後輩達にこう言われました。「気力・体力・知力を持った行動派の青年に成長し



てほしい。茹でカエルになってはいけない。思つたら行動できる人間になってほしい。」と講演を締めくくりになりました。最後に生徒を代表し生徒会長のお礼の挨拶と花束の贈呈で開校記念式典を終了。

プロフィール

昭和20年

桐生工業学校紡織科卒業

昭和23年

桐生工業専門学校機械科卒業

(現群馬大学工学部)

現在

サンヨー食品株式会社常務取締役

販売(株)

大洋食品工業(株)

太平洋食品(株)取締役

サンヨーリゾート(株)取締役

群馬県食品工業協会副会長
群馬県社会保険協会理事

関西支部設立(桐生タイムス社にも紹介される)

温故知新の里づくり

構想から約一年、念願叶って本年二月二十六日(土) 桐生工業高等学校同窓会

関西支部設立総会

が挙行されました。近畿二府四県と岡山県在住の七十二名が支部設立に賛同し、うち三十三名の参加と、同総会本部より五十嵐会長以下四名、小林季二校長、米山埼玉支部長の六名の方々のご臨席をえて大阪市西区北堀江の非破壊検査株式会社(山口多賀司社長は二十三年卒)二階会議室にて和やかに開催されました。十四年卒の今井嘉吉支部長から、四十五年卒の高橋辰夫氏まで実に幅広い年令層の中で故郷の懐かしい思い出に話しもはずみずみ。桐生の母校を想い、肩を組み、全員で声高らかに校歌を斉唱しますと感動、感激で多くの方々が涙して歌っておりました。「三十数年前は、桐生と大阪は汽車で十五時間もかかった」

と述べられた米山支部長。「一目会ったその時にすく〇〇君が分かった」と池田副会長。小林前校長は、「校庭の真中の桜は死んど枯死状態、女子生徒が増えた」と往時との違いを話されました。五十嵐会長は「同じ釜の飯を食った方々が手をとりあって社会のため」と、同窓会の発展が有意義な人生への道すじになるだろうとお祝いを述べられました。



“バンザイ”“バンザイ”

ふる里は遠きにありて思うもの：「同窓とこうして再会できるのが何より嬉しい」と関西支

部坂田幹事。同窓会の場が安らぎの中で、友情と英気を養い明日への語らいの場として長く引き継がれていって欲しいと……。



関西支部設立総会記念

九月四日、待望の関西国際空港が開港致しました。日本初の二十四時間空港として関西経済、ひいては日本経済の大きな起爆剤として、大きな期待を寄せられている。新しい大きな芽吹きを感じながら関西支部も活動をつづけていきます。本部と支部も、ハブの役割りに似て大いなる活動の輪を拡げたいと念願致します。

クラス会だより

半世紀前に

思いをよせて

代表幹事 田中 勝

昭和19年4月入学。綿打村をはじめとする農山村の勤労奉仕、国防色の制服の袖に赤と緑、真ん中に学の文字の刺繍のワッペンを付けて富士計器工場の勤労働員に従事し勉強と奉仕の日々を過ごしながら昭和20年8月、広島・長崎の原爆投下と戦況悪化の中で敗戦を迎えました。その後物資不足のため新聞紙の形状の印刷物を折って糸で綴じたうすい教科書で勉強したこと。昭和22年8月西宮球場で行われた戦後初の野球大会に出場した前久保・木村両君の活躍に胸躍らせたり、二・一ゼネスト、サマータイム、昭和23年の伊豆大島への修学旅行、そして学制改革による11年A組とクラス名が変わった。変化の中で学生生活を送り、昭和24・25年に卒業しました。



昭和24年3月卒業 色染科卒業生

50年の歳月が過ぎ、平成6年4月16日午後7時、割烹田中に於てクラス会が開かれ参加者22名、白い髪、うすい髪それぞれのしわの中に歴史を秘めた顔、顔、顔。しかしあの頃の面影は変わっていない。物故者11名のご冥福を祈り黙祷を捧げた後に宴会となり近況や思い出話に長いブランクも昨日のような感じ。最後に、同級生の健康と発展を祈念し校歌合唱、万歳三唱をし再会を約して散会。楽しいひとときでした。

足利支部は全県へ発展 同窓会設立の経過と

今後について

足利支部長 宮本勝男

私、個人としては、桐生市が整い、二百人に近い同窓生

内各区に同窓会が設立されてが確認され、十一月二十一日

いる事は耳にしていたが、本の設立総会の案内がされた。

部の副会長で活躍されている設立総会の当日は同窓会本部

北川さんから、足利支部を設より、池田・木村両副会長に

立したいとの連絡をいただき、小林季二校長が御来賓された。

さてどのようにな事を運ぶのが、懇親会では、年代を超えて

よいか迷ったが、日頃から親日頃、町内で顔を会わせても

しくしている先輩、同年代、まさか同窓生とは知らず、話

後輩の皆さんに話したところ、をずる機会が無かった人達が

二つ返事で発起人会の話しが改めて親しくなるなど、会を

進み、平成五年七月二十九日通じて新しい出会いが生まれ

(木曜日)第一回設立発起人るなど、大変意義のある設立

が、葉鹿町の、主人が同窓生総会となった。最後に副会長

である下山うどん店で開かれにられた、新井哲夫氏のリ

ドで全員が懐かしい校歌を唄いながら、閉会となった。

で、次回会員の住所の確認と、総会に出席いただいた同窓会

会設立の準備を本格的に行う事を申し合わせる。

尚、この日より我が同窓会本部役員、先生方に深く感謝

の集合は、木曜日、午後七時、すると共に、祝電や励ましの

下山うどんとなり、二回、三電話等を戴いた米山埼玉支部

長はじめ役員の皆様にお礼申し上げます。

回と発起人会が開かれ、規約、この様に会員の力強い協力

役員、その他設立総会の準備

でスタートし、会員の拡大を行うべき幹事会も開かれ、発会時は小俣、葉鹿の同窓生がほとんどであるが、これから三和地区の方々に呼び掛け、その後は市内、そして近い将来、栃木県全体に広げる事を話し合い、これからの活動の目標にした。



ゴルフ大会への参加、ソフトボールチームの結成、他支部との交流等々誰でもが気楽に参加出来る同窓会となる様に運営していきたい。又、地域の社会問題等も話し合える場として、会の運営を進めたいと考えます。

『桐敬会』開催される

昭和三十五年 定機械科卒業生 幹事 山藤 隆

私達の恩師である荒居敬雄先生の「敬」を頂き、桐工卒業生である「桐敬会」が誕生となりました。

前回の時會則等の制定を行い活動を致して居ります。卒業時は四十四名でしたが三名が既に逝去され現在は四十一名の会員となりました。現在はまた元氣なので三年に一度の一泊総会を予定して居ります。

九月十七日、伊香保温泉、森秋旅館におきまして開催されました総会は、群馬県立桐生女子高等学校校長を最後に退職されました。顧問、荒居敬雄先生の退職祝を兼ね、新たに令夫人であります百合子先生(旧姓、山田百合子先生)を顧問にお迎えする事になりました。

十八名の参加を頂きました。その内三名の方は卒業以来三十四年振りの再会でしたが一目で分かりました。会員の現況報告を伺い各地各界において活躍されて居る事が分かりました。



平成六年度 同窓会総会

平成6年度の総会が6月22日に開催されました。

司会は、新総務部長の星野先生が担当しました。開会の辞を池田光二副会長が宣べられまして開会です。

始めに五十嵐健雄同窓会長挨拶と、四月より本校の新校長として赴任した加藤通頭校長のお二人のごあいさつをいただきました。

議事は、報告事項が二つに議案が二つです。まずは議長選出ですが会則により五十嵐



開会の挨拶する五十嵐会長

同窓会長が議長席へ。
報告第1号議案

平成5年度事業報告を平賀



議事討議中です

副会長より報告、つづいて平成5年度決算報告を大沢先生(会計担当)が報告。質疑応答の後監査報告を遠坂監査役より報告。拍手で承認。

報告第2号議案

支部設立経過報告を池田副会長より報告があり、ここ1・2年の内に、県外支部設立が3県もあり上昇ムードになっている。市内最後の8支部も設立に向けて準備会ができつつあり、前橋支部も慶徳勝正氏のお力を借りて動き出している。

議案第1号

平成6年度事業計画を木村副会長より発表されました。特に平成7年度に再発行され

る同窓会名簿の準備が始まる事と、親善ゴルフ大会と同窓会報「桐雷」の発行の提案がありました。つづいて平成6年度予算案を松本先生(会計部長)より提案があり総額約二千二百万円の使途が拍手で承認されました。

議案第2号

平成6・7年度役員改選に



朝日輝く・妙なる色に

ついで中里先生(事務局長)より報告があり満場一致で会長以下5名の副会長を承認いたしました。

議事終了後、北川副会長より名簿のお願いと桐雷第6号の内容の紹介と、下山蔵司実行委員長より第3回ゴルフ大会についての報告がありまし

た。最後に新井副会長の閉会の辞で平成六年度同窓会総会を終了致しました。その後の懇親会では、懐かしい顔・顔に、同級会のように先輩のみな様が交流されておりました。



県外支部役員と記念写真デス



記念撮映デス、ハイポーズ

支部設立の 気運高まる

平成五年度に県外支部が次々と結成され、他校に例を見れない程の上昇ムードになっております。

総会でも紹介致しましたが第8支部と前橋支部では発起人の方々が支部結成への準備を今現在進めておる所です。

又、千葉県支部と大間々支部も発起人会結成のための連絡網の整備中となっており県外支部設立が良い流れとなっており、各支部の増々の交流が深まる事を願い新支部発足を喜びたいと思います。

関西支部が誕生



桐工同窓会の第三の県外支部となった関西支部設立総会

は「桐生タイムス」紙で紹介
生報に発表され、

第三回 同窓会 ゴルフ大会

第三回親善ゴルフ大会が下
山大会会長のお世話で三年連
続城山カントリークラブを会
場にして、八月二十四日、盛
大にして楽しく行なわれまし
た。総勢153名が参加し桐
工の校歌が一日中流れる中で
支部対抗戦をメインに行なわ
れました。

昨年二位の第8支部が1・
2差で13支部をおさえ見事に
優勝に輝きました。個人優勝
の小保方氏は、グロス72のパ
ープレイでした。

大会運営は一・二回同様下
山実行委員長を中心に、楽し
しく、よりスムーズに運営さ
れる様に計画・立案してまい
りました。この会の運営にあ
たり実行委員の皆様の努力に
よって大成功のうちに終了す
る事ができました。

競技終了後の表彰式・パー
ティーも和気合々として懐か
しい同志顔を合わせて語りあ
ってました。すでに来年に
向けての話しもスタートして

おります。以下に当日の成績
を発表いたします。来年の大
会では、新しい顔ぶれにお会
いできる事を楽しみにしてお
ります。



優勝した8支部のメンバー

団体部	優勝
八支部	第 八 支 部
準優勝	第十三支部
三位	第五支部
四位	第十七支部
五位	大間々支部
六位	笠懸支部
七位	第七支部
八位	第十六支部



小保方氏 個人優勝



カンパイ!! 井上先輩

九位	第十一支部
十位	第十二支部
十一位	第四支部
十二位	教員チーム
十三位	足利支部
十四位	第十五支部
十五位	加藤鉄支部
十六位	第十四支部
十七位	第十八支部
十八位	埼玉県支部
十九位	本部チーム

優勝 第八支部

合計 四五二、六

小保方英児・前原廣光・向田
達也・関山保夫・二階堂 浩
・石原正弘

準優勝 第十三支部

合計 四五三、四

田島光一郎・関子田公一・樋
口敏男・彦部洪太・田島孝宏
・関子田守一



応援団長 内藤氏

個人の部

優勝 小保方英児 (八)

準優勝 津久井 弘 (十八)

三位 小林 正夫 (五)

四位 幾井 俊雄 (七)

五位 森田 (四) 新井 (五)

各賞の部

ベストグロス

小保方英児 七一 (一般)

杉戸 清二 八一 (シニア)

ドラコン

森田良徳・加藤昭男 (一般)

杉戸清二・荒船真治 (シニア)

ニアピン

金井芳雄・金子昌弘・野村滋



やっぱり桐工校歌ダネ



お酒!! ウマイヨ!!

幾井俊雄 以上です。
本部チームがフービーメー
カーですが、五十嵐会長のグ
ロス91は立派ですね。
個人の方は、小保方氏の3
連覇となりましたね。
ゴルフと言えばやっぱり星
野常先生、来年は来ていた
けるでしょうか?
今年よりも来年の方がうま
くなっていますよね。

◆学校だより◆ 桐生は進学校

進路指導部 柏田 健一

進学率
高まる

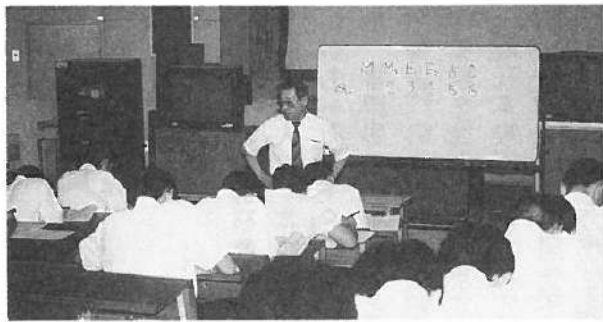
近年、本校の入学生は、更に理工系大学等の上級学校への進学を目指している生徒が多くなった。

大学入試における18才人口は、平成4年度入試が全国でピークの年を向かえ受験者数の大巾な増加により難化した

が、今後、大学受験人口の減少期に入ることにより徐々に緩和されてくると思われる。

しかし、職業高校の場合、大学にかぎり、難化していた時期に希望があっても進学が出来ず専修各種学校へ進学していた層の普通高校の生徒の多くが大学進学に向うため大きく易化することはなく、もうしばらくの間、職業高校生の大学進学は困難な時期が続くものと思われる。

本校は工業科の課程であるので高学年になるにしたがい専門教科の単位数が増え、大学受験に必要な普通教科の単位数が少なくなり、一般入試で大学に合格することは、極



補習授業中の柏田先生

推薦入試制度には、指定校制と一般公募制があるが、指定校制とは、大学側からの指定する高校の生徒しか受験できない制度であり、有名私立大ではこの制度を採用しているケースが多い。

最近10年間の進学状況 (過年度卒も含む)

学校名	卒業年度					2	3	4	5	学校名	卒業年度										
	昭59	60	61	62	63						昭59	60	61	62	63						
群馬大学	0	0	0	0	1	2	2	0	1	東洋大学	1	2	1	1	2	2	2	1	4	2	
千葉大学	0	2	0	2	0	0	0	0	1	道都大学	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0
山形大学	0	2	2	1	1	1	1	1	0	日本工業大学	3	2	3	3	3	3	3	3	1	2	
電気通信大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	日本体育大学	4	5	4	4	5	4	7	6	7	5	
東京芸術大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	日本文理大学	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	
長岡技術大学	0	1	0	0	0	1	1	0	0	日本文理大学	2	5	0	4	1	2	2	3	2	2	
名古屋工業大学	1	0	1	0	0	0	0	2	0	八戸工業大学	0	3	2	4	2	3	3	2	4	2	
足利工業大学	5	5	7	4	2	1	0	1	1	福岡工業大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
石巻専修大学	0	0	0	0	2	0	0	0	0	北海道東海大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
いわき明星大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	明治大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
奥羽大学	0	0	0	0	0	2	0	0	1	盛岡大学	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	
神奈川工業大学	0	2	0	1	1	0	0	0	0	山梨学院大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
金沢工業大学	0	2	0	0	0	0	0	0	0	小計	30	52	36	37	45	43	44	34	41	39	
関東学院大学	1	3	2	1	1	1	2	2	0	群馬工業短期大学	0	1	3	0	1	1	1	0	0	0	
関東学園大学	0	0	0	0	0	1	0	0	2	小山工業短期大学	0	0	0	1	1	0	1	1	2	1	
熊本工業大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	群馬大学短大	25	15	17	21	16	-	-	-	-	-	
九州東海大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	前橋工業短大	4	5	5	10	3	4	5	6	2	5	
神戸芸術工科大学	0	0	0	0	1	0	1	0	0	日本大学短大	2	1	4	1	1	2	0	0	0	0	
高野山大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	関東学園短大	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
国士館大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	桐生短大	0	1	1	2	1	2	2	3	1	0	
国学院大学	0	1	0	0	0	0	0	0	0	攻玉社短大	1	0	0	1	3	1	0	0	0	0	
国際武道大学	0	0	1	0	0	1	0	0	0	新潟工業短大	0	1	0	3	0	0	1	1	1	1	
埼玉工業大学	1	1	1	1	1	1	1	1	1	小山職業短大	1	1	1	2	2	6	3	1	6	4	
作新学院大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	群馬職業短大	-	-	-	-	-	2	4	3	1	1	
湘南工科大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	京都職業短大	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	
芝浦工業大学	0	0	0	0	0	1	0	0	0	その他	1	3	1	2	2	3	3	2	5	5	
上武大学	0	0	1	1	1	2	0	0	2	小計	34	30	32	44	30	22	22	17	18	17	
仙台大学	0	1	0	0	0	0	0	0	1	専門各種学校	17	22	21	29	43	41	53	49	57	51	
大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	1	〔日本工学院											
千葉工業大学	0	0	0	0	4	3	3	4	5	読売東京理工											
中央大学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	中央工学校											
桐蔭学園横浜大学	0	0	0	1	0	0	0	0	0	日本電子											
東海大学	2	1	1	1	1	0	2	0	2	東北電子計算機											
東京電機大学	2	0	4	2	1	1	1	1	1	群馬自動車											
東京農業大学	0	0	0	0	0	0	2	1	1	足利コンピュータ											
東京理科大学	0	0	0	1	2	1	0	0	1	北関東造形											
東北学院大学	2	4	2	1	3	2	4	2	3	太田高等技専											
東北工業大学	4	9	5	5	3	3	2	2	2	その他											
東北福祉大学	0	0	0	0	1	0	0	0	0	合計	81	104	89	110	118	106	119	109	116	107	

国公立大では個別の高校を指定することは極めて少ないが、私立大では「優秀な人材を早く確保する」という趣旨から積極的な姿勢で取り組んでいる。そのため合格率も指定校制では、9割以上であり、不合格者はまれにしか出ないが、自分の高校が志望大学の指定校になっていなければ受験出来ないのも事実である。

一般公募制は、推薦条件さえ満たしていればどの高校からも出願できる。成績概評もC段階中程度(3.0以上)を基準とした大学もあるがB段階(3.5~4.2)以上が数を表したものです。

左図は、本校より進学している大学等の名前と年度別人数を表現したものです。

いずれにしても、早期に自分の進路目標を立て、校内選考で推薦していただけたら、しっかりとした生活を送る事が進路希望達成には不可欠とされます。

事務局だより

平成七年に同窓会名簿三訂版を発行する事になり、現在同窓会員の皆様のお手元へ左の写真にある調査カードが送られているかと思ひます。五年ぶりの改訂ということに相当数の会員の方々にお手数をかける事となると思ひます。同窓会の輪を広げるためには、名簿は不可欠なものとなるため、左の手紙に記入の上ご投稿下さいませ様お願い致します。

同窓会名簿発行のご案内

同窓会名簿発行のご案内

同窓会名簿発行のご案内

つておりますが、同窓会等が開催されましたら、その名簿を校内事務局まで送っていただいたかと思ひます。

尚、名簿購入につきましましては、ハガキの予約の欄に○を記してください。

みな様の協力で、正確な同窓会名簿を完成させたいと思ひます。

お手元にハガキがまだございましたらお早目にご投稿ください。

不明な点等ご座居ましたら校内にある同窓会事務局までお問い合わせ下さい。

改修工事進む

旧機械科棟を解体し、現在本校舎に合わせ4階建のRC造が建設されております。

この建物は、旧機械科の実習室を1階に配し、新しくカリキュラムに導入された家庭科の実習室を含んでおります。いよいよ、桐工でも料理や裁縫を学ぶこととなりました。当然男子もこの実習を体験するのであります。

現在本校には、一〇八名の女子生徒が通学しております。

が、今後も増えるかと思われまます。近くまでおいでの際にはお立ちより下さい。



校歌プレート完成

平成五年度卒業生の記念品として生徒の手彫りによる校歌プレートが贈られ体育館に掲げられました。県内一の記念品となりました。



編集後記

同窓会員の皆様に第六号をお贈りできることとなり編集部一同大変喜んでおります。

昨年は、県外支部結成が進み、その活動もさらに深まっている様です。

また、小林季二校長がこの三月で退職され新校長が赴任されました。

さらに、ここ数年の間に大学等上級学校への進学者が増えている本校の進学先が目を見せ、六年度総会と第3回ゴルフ大会の内容を主として編集致しました。

また、できるだけ多くの写真を入れる事で、より多くの方々を紹介する事ができたものと思ひます。

足利支部や埼玉支部では支部で桐雷を作製し会員に配布しております。

これからも桐雷七号に続く様に編集部として努力してまいります。

さらに、この桐雷がみな様のものとなる様同窓生諸氏のご意見、投稿をお待ちもしております。